

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 健康栄養学科

名 前 白石弘美

作成日 2023年9月20日

1. 責務 (何を行っているか、何を果たしているか)

担当科目

- ・主担当：栄養アセスメント論 (3年必須)、臨床栄養学Ⅲ (3年必須)、臨床栄養学実習Ⅰ (3年必須)、臨床栄養学実習Ⅱ (3年必須)、応用栄養学実習 (2年必須)、管理栄養士基礎演習Ⅴ (3年必須)、管理栄養士総合演習 (4年必須)、
- ・オムニバス：コミュニケーション実習 (1年必須)、食事計画実習 (1年必須)、心身健康科学 (1年基礎)、職業とキャリア形成 (1年基礎)、看護学科「栄養学」 (1年必須)

教育活動

・学外活動

埼玉県看護協会「看護師のための栄養管理研修」(NST加算対象研修)、「シニアの健康と食事」蓮田市民大学、日本褥瘡学会埼玉県支部世話人(在宅褥瘡セミナー含む)、医療法人ときとうクリニック治験審査委員会(外部委員)、日本臨床栄養協会関東地方会世話人(企画・運営など)

・学務・学科内

自己点検評価委員会(委員)、人間科学部教務委員会(副委員長)、就職対策WG(副委員長)、危機管理衛生委員会(副委員長)、アドミッション委員会(副委員長)、学生支援WG(健康栄養学科)

教育理念・方針で果たす責務

担当する科目は管理栄養士養成の必須科目が主であり、健康・栄養に関する専門知識と技能を身に付け、実践力のある臨床栄養分野の専門性を高める養成の責務がある。

2. 理念 (教育に対する考え方)

管理栄養士として、一般の方から傷病者、乳幼児から高齢者、スポーツ栄養の分野など、それぞれの状況に応じて適切な食を設計し、実践する専門職を育成したい。さらに食や栄養、身体などの専門領域に加え、人間を総合的に理解するための科目が充実させることで、現代社会で継続して活躍できる健康・栄養分野のパイオニアとしての、意欲ある社会人の養成を目指していく。

3. 方法 (教育方法において大切にしていること)

栄養管理(栄養補給法と病態別の栄養アセスメント、食事療法の献立作成と実施)ができるようになるために、臨床栄養学の原理と使い方を統合的に身に付け実践できる。

- ①医学、医療の基礎知識、専門・応用知識に沿った栄養ケアマネジメントを説明できる。
- ②傷病者、要介護者の栄養ケアプランとして献立を作成し実践できる。
- ③傷病者、要看護者への栄養教育・支援について説明できる。
- ④各疾患・病態別の栄養ケアマネジメントの実施方法を理解する。
- ⑤栄養素材の特徴を理解し、適切な使用方法について説明できる。
- ⑥作成した献立に基づき、具体手的な調理方法を説明できる。
- ⑦病態だけでなく、ライフステージ別の疾病時の栄養管理の特徴を理解する。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

授業アンケートから学生の評価に対して

- 1) 各科目のアンケート結果から、一部学生が「難しい、意味が不明」と回答があった。
これについては臨床栄養学で使用される医療用語など、管理栄養士が臨床実習で遭遇する内容を繰り返し教示していく必要がある。
- 2) 早口で授業内容が多いとの意見があり、重要ポイントは数回ゆっくり説明する。
- 3) 特に「栄養診断プロセス」については、座学だけでなく、実習事業でも教示して
近年、医療現場での栄養管理の役割を認識し興味を持つようにしたい。
- 4) 臨床現場での患者対応ポイント、実際の症例での支援の説明は、概ね好評であった。

学生の学習成果について

前期・後期の臨床栄養学実習Ⅰ、Ⅱは、管理栄養士の医療・介護現場における実践力を学修する科目であり、傷病者や要介護者への管理栄養士業務である事を学生にしっかり説明して、知識とライセンス力の向上を指導する。

前期・後期の座学である栄養アセスメント論、臨床栄養学Ⅲについては、1年次からの栄養管理のまとめとして、臨床栄養管理の最新情報や、患者対応で得た体験を具体的な症例を示し学修を勧める。
期末試験でのGPA評価にバラツキがあった。そのため授業改善によりGPA基準配置を見直したい。

さらに管理栄養士国家試験や応用力問題では、本授業内容が出題される。そのため実力試験では3年次60%、4年次70%を獲得し習得する必要がある。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

中短期目標

臨床栄養学の実習科目は

- ①調理技術・食品学の基礎に立ち、傷病者・要介護者を対象とした治療食実習であることを理解し、実践できる。
- ②献立計画・栄養バランス・治療食調理・栄養の評価など、栄養治療一連を完成させ、クラスでのグループ討議してまとめる力を養う。

臨床栄養学、栄養アセスメント論では

- ①傷病者や要介護者において病態にそった個別対応や、栄養食事管理が実践できる。
- ②栄養診断（NCP）から栄養補給の方法や適応を説明できる。

到達時期

- ① 臨地実習（2年次、3年次）までに給食マネジメント、栄養管理計画について多職種とのコミュニケーションができる。

- ② 4年次までに傷病者・要介護者に対して栄養ケアマネジメントを統括して完成する。
- ③ 卒業と同時に管理栄養士国家試験 100%合格を達成させる。」

* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

- * TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
(シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、
すぐに確認できるようにしておきます。)